

再発子宮体癌に対するレンバチニブ+ペンブロリズマブ併用療法を
施行中あるいは施行経験のある患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に対するご協力のお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター産科婦人科では、再発子宮体癌に対するレンバチニブ+ペンブロリズマブ併用療法を施行された方の診療情報（カルテ）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

再発子宮体癌に対するレンバチニブ+ペンブロリズマブ併用療法の安全性・有効性に関する後方視的研究

【研究の背景と目的】

再発子宮体癌に対して、血管新生阻害剤であるレンバチニブとペンブロリズマブの併用療法が適応となり、これまでの治療が奏功しなかった患者様の生命予後が改善される期待が持たれるようになりました。しかし、本療法の有害事象に対する問題や長期予後は現状では不透明です。

当院における再発子宮体癌に対する本療法の治療効果と有害事象を後方視的に検討し、有用性・施行時注意点など様々な課題を抽出し、患者様の医療の体制整備に役立たせたいと考えました。

【対象となる方】

2022年1月1日～2024年3月31日までに獨協医科大学埼玉医療センターで、再発子宮体癌に対するレンバチニブ+ペンブロリズマブ併用療法を開始された方

【使用する検体・診療情報】

使用する診療情報は以下のとおりです。

年齢、身長、体重、分娩歴、病期、病理組織型、
手術歴、化学療法歴、その他の治療歴、MSI 検査結果
レンバチニブ+ペンブロリズマブ併用療法の腫瘍縮小効果
レンバチニブ+ペンブロリズマブ併用療法の有害事象

なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認日から2025年3月31日まで実施され、約40名の患者さんにご協力いただく予定です。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。

また、使用した検体やカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究の研究成果は日本産科婦人科学会や日本婦人科腫瘍学会などで発表、または各学会誌へ投稿する予定ですが、その際も患者様を特定できる個人情報は公表しません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 産科婦人科 濱田 佳伸（講師）

【問い合わせ先】

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

獨協医科大学埼玉医療センター 産科婦人科 担当者：濱田 佳伸（講師）

電話番号：048-965-1135（直通） 月・火・水・金 10時～16時

以上